

1. 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

保護者の代表 (2名)

・PTA会長 ・PTA母親代表 (副会長)

地域の代表 8名

・まちづくり協議会長・コミュニティセンター長・区長代表 (2名)・駐在所長・民生児童員代表・学校ボランティア代表・勤労生産学習協力者代表

学校の代表 (3名)

・校長、教頭、教務

地域コーディネーター

加戸・公園台コミュニティセンター長
加戸小学校 加戸っ子ファーム土地提供者

(2) 家庭・地域・学校協議会の内容

・6月27日(木)
コミュニティスクールの今年度の計画と課題

・11月13日(水)
KADOフェス(学習発表会)の参観と給食の試食会、学校教育活動や児童の様子についての協議

・2月20日(木)
学校関係者評価と次年度の計画

※その他
上記以外の学校開放日にも参観を要請し、来校いただいた。

(3) 協議会における成果と課題

今年度は、協議会の委員の方から地域の中での危険箇所について話題が出た。安全マップを見直し、作成したらどうかということとなり、PTAと青少年健全育成市民会議の予算から、新しい安全マップを作成し、家庭や地域に配布することができた。

2. 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

勤労生産学習を通して、地域産業である畑作農業を学んだり、かつてのお茶栽培やその歴史について学んだり、また、地域で活躍する方々と共に活動したりすることで、ふるさと「加戸」の伝統・文化・自然・人・産業に誇りを持ち、地域を愛する児童の育成を目指す。

(2) 活動の実際

- ・縦割り班による学校園でのサツマイモ栽培・収穫・販売(活動リーダー6年生)
勤労生産学習協力者の指導を仰ぎながら、全校児童と近隣の幼保園児とで植えたサツマイモを収穫し、焼きいもにして味わったり、販売したりした。
- ・お茶の栽培と抹茶体験教室の実施(5, 6年生)
かつて、お茶の栽培が盛んであった加戸地区でお茶作りをされていた方のご指導のもと、昨年植樹したお茶の木の観察や世話を行った。また、地域の茶道の先生のご協力のもと、日本の伝統文化である抹茶体験を実施した。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・勤労生産学習協力者代表の方には、年間計画作成時の助言、実際の体験での指導をお願いした。また、様々な農作物の生産管理もお願いした。
- ・土地提供者の方には、お茶の木の管理や世話の指導、剪定活動の指導をしていただいた。
- ・コミュニティセンター長には、公民館祭りでの琴クラブの発表、そば打ち体験などの協賛行事開催に尽力いただいた。

(4) 特に工夫した事項

- ・6年生の主体性やリーダー性を育てるために、縦割り班での全校活動の前に、6年生への事前指導を丁寧に行った。
- ・茶道や琴の演奏などの伝統文化の学習や、低学年が伝承遊びを教えていただく昔遊び交流会でも、地域人材を多く活用し、地域の人との交流を深められるようにした。

(5) 成果と課題

地域の方々の絶大なるご協力のもと、多くの農作物の生産体験、販売体験、お茶の栽培体験や抹茶体験、調べ学習等を通じ、地域の特産物や歴史について深く知る事ができ、ふるさとを誇りに思い、ふるさとに愛着を持つ心情を深めることができた。学校評価でも98%以上の保護者が、「子どもたちは、地域学習が楽しいと感じている」と回答している。

今後は、勤労生産学習を継続していくと共に、加戸っ子ファームに植えたお茶の木の更なる生育を見守る活動を続け、お茶に係わる体験活動を増やしていきたい。

